

# 静岡県立磐田農業高等学校

鎌竹先生 松本先生 鈴木先生

今回は、定期試験等でデジタル採点ソフト『採点ナビ』をご活用いただいている、静岡県立磐田農業高等学校の鎌竹先生・松本先生・鈴木先生にお話を伺いました。

インタビュー日 2023年3月30日



ICTの活用はあまりみられなかった本校に、  
鎌竹先生が『採点ナビ』などを提案してくれ  
る中で、みんな徐々に活用し始めたんです。

\_\_\_\_\_まず、先生の担当教科や経歴を簡単にお伺いできればと思います。

鎌竹先生：担当科目は地歴・公民。公共と地理総合を担当しています。  
ICT担当は2020年からです。

松本先生：本校は7年目で、国語の担当となります。今年は2年の学年  
主任を担当しています。『採点ナビ』にはお世話になっています。

鈴木先生：国語科の担当です。本校が1校目ということで、大学を卒業  
後に教師になって今年度で3年目です。

\_\_\_\_\_鎌竹先生はどのような経緯でICT担当になられたのでしょうか？

鎌竹先生：今の高校に赴任したタイミングです。それまでは、静岡県の  
公立高校全体で普通教室にプロジェクターが整備された程度でした。  
その後どの学校にもWi-Fiが整備されてきたのが、ちょうど2020年から  
2021年にかけてでした。

\_\_\_\_\_GIGAスクール構想があったときですね。当時高校ではどのよう  
な対応をされていましたか？

鎌竹先生：静岡県の高校では、生徒が自分で端末を購入するBYODが  
原則となると通知されました。まずはすでに生徒が持っているスマホを  
使ってもらい、GoogleフォームやGoogle Classroomなどを、使える場面  
から導入していきました。

松本先生：それまで、この学校ではICTの活用があまり見られなかった  
ところを、鎌竹先生が3年前に来て『採点ナビ』などを提案したりして  
くださって、他の先生方も徐々に活用し始めた流れなんですよ。私も  
その一人なんですけど(笑)。



鎌竹先生・鈴木先生

「観点別評価」を見据えて危機感を持ち、  
デジタル採点ソフト導入を検討し始めました。

\_\_\_\_\_デジタル採点という商品には、どういった経緯で興味を持たれ  
たのですか？

鎌竹先生：私が担当する教科(公民科)は2単位の科目しかないので  
すが、担当クラス数は大抵8クラスになり、概算で320人分のテストを  
短期間で採点しなくてはなりません。子供が生まれてからは、答案を  
持ち帰っての夜中や休日の採点業務は過酷そのものでした。採点ミス  
も出てしまい、なんとか手立てを、と探していたところ、同僚の先生の  
一人がすでにフリーのデジタル採点ソフトを使っておられたことが大  
きかったです。

また、この頃GIGAスクール体制が小中学校に導入されたことを機に  
ICT関係の情報交換をするグループができ、私自身そこにも参加して  
いました。そこで中・高の先生方から、(デジタル採点について)他県で  
導入されている事例と圧倒的な高評価を聞きました。特に中学校では、  
観点別評価を先に入れて活用されておられて、(観点別の集計は)  
我々高校には来てないけど、採点の手間は増えてもそのための時間  
が保障されることはなさそう…などと危機感を持ったことから、A社さ  
んと『採点ナビ』さんを見比べさせていただきました。

\_\_\_\_\_他社と比較して検討していただいたのですね。デモ版を使ってい  
ただいたのは『採点ナビ』だけだったのでしょうか？

鎌竹先生：そうですね。価格が一番お手頃だったのと、インストール型  
だったことがありました。当時はクラウドに成績関係は保存してはいけ  
ない決まりがあったので。

\_\_\_\_\_『採点ナビ』を選んでいただいた理由は、そちらの2点を評価して  
いただいたということですね。

鎌竹先生：他にもホームページを見て、実績も拝見して参考にしました。  
あとは、先ほど触れたICT担当のグループの中でも、他校の方が『採点  
ナビ』は操作もわりとシンプルで、使いやすい」と評価されていたので…  
口コミですね(笑)。いくつもデモ版を入れるとテストの採点で手一杯に  
なってしまって比べにくいと思い、『採点ナビ』のみにしました。



# 記述問題が多い国語では、「手採点とソフトのハイブリッド」※で活用しています。得点計算で使うだけでも、とても早く終わるんです。

(※次回のアップデートでは、よりかんたんに実現できる「点数のファイル入力機能」を搭載予定です。)

\_\_\_\_\_ありがとうございます。実際に使っていただいていたか？特に国語の場合は、縦長の解答欄を使用したりすることもあるけど、他の教科と勝手が違う部分がありますよね。

鈴木先生：私は普通に縦長で作って、答案用紙を手採点して点数を記入しておいてからスキャンをして、点数だけをソフトで打ち込んで集計するというやり方でやってます。本当に計算が苦手なので…。得点の計算を『採点ナビ』でやってもらうだけでも、とても早く終わるんですよ。

鎌竹先生：手採点して点数だけ打ち込むって、どうやるの？

鈴木先生：解答欄の上のほうに部分点の欄があるので、解答欄の上に③などを書いておいて、スキャンしたあと上の数字だけ見ていけば点数を打ち込めるんですよ。

鎌竹先生：なるほど。満点なのか部分点なのかだけを入れてあげるといことですね。

\_\_\_\_\_ハイブリッドに活用されていらっしゃいますね。

鎌竹先生：柔軟ですよ！

\_\_\_\_\_それでは改めて、最初に『採点ナビ』をご使用いただいたときの率直な印象を教えてくださいませんか？

松本先生：本当に、最後にもう一回計算するというのがなくなったことが自分としては一番嬉しかったですね。○を数えて集計というのがなくなったのが…。○か×かを選んだだけで終わるっていうのが一番よかった。あとは、やっぱり今年になっての「観点別評価」ですよ。

\_\_\_\_\_観点別評価の導入で、更に計算するものが増えましたよね。

松本先生：そう。その集計をしない方がいいのが本当によかったです。

\_\_\_\_\_他の方はいかがですか？

鈴木先生：そうですね、私も数字に弱いので…(笑)。使い始める前は手採点だったので、その時は本当に点数の訂正が多かったんですよ。ですが、『採点ナビ』を使ってそれがぐっと少なくなって、すごくありがたいなって思いました。他には、はじめ長い解答欄が見にくいのにしばらく手こずった感じでしたね。最初の1年目にそれで手こずって、2年目になって持つクラスが増えたとき、じゃあどうしようかって考えて、さっきの「手採点とソフトのハイブリッド」のやり方をやってみようって思いついたんです。そこからもっと有効活用できる場所があるなって思いました。

\_\_\_\_\_解答欄が見にくいというのは、どういった理由ででしょうか？

鈴木先生：今の生徒たちは字がすごく小さい子や、薄いシャープペンの芯を使っている子が多いんです。パソコン上だと、かすれていたりすると書いてあることがわからなくなることがあるので、直接原稿を見て、手採点でやってみた方がいいかなって思ったんです。

\_\_\_\_\_そういう経緯があったんですね。大変参考になります。



左から、松本先生・鎌竹先生・鈴木先生

## 採点のための時間が少なくなり業務が煩雑化している今、生徒の学習の成果を正當に評価するためにデジタル採点が有効。

\_\_\_\_\_利用後の採点時間について、感覚としてはどのくらいになりましたか？

鎌竹先生：かなり短かくなったと思います。点数をつけるまでを含めると、3分の2どころじゃないですね。

鈴木先生：やっぱり点数をつけるのもそうなんですけど、物理的な時間が減るので…。例えば、答案用紙を一枚一枚めくる時間などですよ。そういうのがなくなったのがすごく大きいですね。

鎌竹先生：あとは、デジタルなら隙間時間に少しずつ採点を進めることもできるんですよ。手採点だと、席を離れる時、採点用紙をいちいち鍵のかかるところに入れなくていけなかった。でも、今はパソコンを閉じておけばパスワードで保護されるので、授業の合間にちょこちょこ進めることができます。

近年は、分掌業務や研修、会議が増え、昔ほど採点のための時間が確保されなくなってきました。それに加えて、観点別評価のため、採点業務は煩雑化しています。それでも、生徒の学習の成果を正當に評価したい。そういった時、デジタル採点なら、複数の解答の比較も容易ですし、見直しや確認もしやすい。丸つけが終われば成績も正答率分析も同時に終わり、以前よりテスト問題の振り返りに時間を使えるようになりました。

\_\_\_\_\_『採点ナビ』を使うことで生徒のためになっていると思われることはありますか？

松本先生：採点分析してくれるのがいいですね。最後に誤答率、得点率みたいなのが出てきますから、それを使って、生徒に感覚的な話ではなくデータで解説ができるなど。全体では比較的できてなかったところが出ていたら、すごいね、って言えるし、できなかったところは、集中してここまでわかるように勉強しようね、って言えます。あとは、自分たちがやった授業の中で、「それを評価するための問題として適切だったか」ということを数字で確認できるのがいいと思いました。

\_\_\_\_\_最後に、数ヶ月お試しいただいたクラウド版『採点ナビクラウド』へのご感想があればお願いします。

鎌竹先生：クラウド版も使いやすかったです。操作感はインストール版とだいぶ異なりますが、『採点ナビ』ならではの機能はそのままでした。また、モバイル用の端末ではタッチ操作ができるので、さらにスピーディーかつ丁寧にできるな、と感じました。

\_\_\_\_\_貴重なご意見をありがとうございます。

今回お伺いした点も含めて、今後も『採点ナビ』の改善を進めていきたいと思っています。改めまして、本日はお忙しい中ありがとうございました。